

四日市市立水沢小学校

学校だより

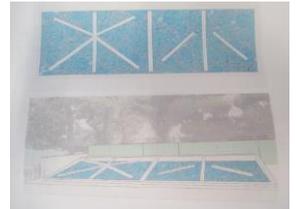
令和6年9月18日 第27号



創立150周年に向けた準備会が行われました。

9月10日(火)の夜、本校で創立150周年に向けた準備会が行われました。運動場の南側にある「水小」と入った花壇が、現在は花壇として使用されていないことから、写真のようにきれいに整備しようということになりました。陶芸家の方々にもかかわっていただき、今後子どもたちが焼き物制作に参加し、具体的に作業を進めていきます。

陶芸家の方々には、水沢小学校の「青空に一番近い学校」というフレーズ、水沢地域の「水まつり」等といった文化・歴史にまつわる「水」というワードから着想を得て、「青空」や「水」＝「水色」や「青」を主体とした色調で全体が構成されるように、作品の構想を考えていただきました。「空や水を連想する水色や青」とのコンビネーションによって自然豊かな水沢地区の風景が表現されるとともに、設置場所には「桜の木」をはじめとする木々があることから、卒業式・入学式の記念撮影スポットとして親しむことのできる空間として整備されていく予定です。



10月12日(土)の本校運動会(雨天順延)後には、創立150周年に向けたパンフレット、クリアファイル作成のための集合写真を撮影する予定です。「水沢音頭の踊り」「閉会式」後の12時過ぎに撮影予定ですので、水沢小学校にゆかりのある方で、撮影に参加していただける方は、集まっていればと思います。よろしくお願いいたします。

「絵本の読み聞かせ」をしてもらっています。

現在、地域有志6名の方々に「読書活動支援員」として、月に一度のペースで、第2水曜日の朝読書の時間を利用し、本の読み聞かせをしてもらっています。9月11日(水)には、2学期第1回目の本の読み聞かせをしていただきました。

1,2年生は読書活動支援員さんを囲むように集まり、本に集中し、何やら内容への突っ込みやつぶやきをしている子がいました。4,5年生は、教卓付近で本を開いて読んでもらい、読み聞かせの前に本を読むことの良さを語っていただいている読書活動支援員の方もみえました。3,6年生は書画カメラを使い、絵本の内容が見やすいように、プロジェクターで絵本を投影して見せてもらっていました。

本の読み聞かせは、習慣化すれば、子どもたちの語彙力や想像力、感性を豊かにし、子どもたちの情緒を安定させる効果もあると言われています。

本校では、令和7年度4月より、小規模特認校制度を適用するにあたり、現在2階図書室横の部屋を、写真のように子ども交流室(仮称)として整備しています。11月29日(金)2,3限目には、子どもの本専門店 メリーゴーランド店主 増田喜昭さんをお招きし、本を読むことの大切さについて話していただくと共に、子どもたちが一人1冊、自分が読みたい本を選定し、子ども交流室(仮称)に入れる予定をしています。具体的な内容は、日時が近づいてきましたら学校だより等でお知らせをします。次回は10月9日(水)、朝読書の時間に読み聞かせをしていただきます。



三本松公園(富士山公園)に出かけました。(3,4年生)

9月11日(水)午前中、3,4年生は、三本松公園と薬師堂に出かけました。自分の住んでいる地域について興味を持ち、気づきを持つことが大きな目的でした。三本松公園では、地域の自治会長様にお世話になり、地域のことや地域の歴史についてお話していただきました。三本松公園には薬師堂があって、中にも入らせていただきグループごとに参詣をしました。正面には「おもかげを うつして見れば 井戸の水 むすべば 胸のあかんやおちなん」という和歌が記されていて、本堂南側の湧き出る清水を飲むと解毒の作用をし、歯痛、頭痛をはじめ、たちまちその痛みが取れると言い伝えられているそうです。子どもたちは薬師堂の中に入り、リンを鳴らしてお祈りをしたり、まつられている石を持ち上げてみたりしていました。タブレットで、気になったところの写真を撮ったり、清水にさわったりもしていました。最後に富士山のある公園で少し遊ばせてもらい、全員で集合写真を撮りました。小規模特認校制度の授業体験期間中で、他校から来ていた3,4年生の体験児童にとっても、有意義ないい時間になったことと思います。お世話になった自治会長様、本当にありがとうございました。



(文責 北住 昌文)